

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価									
				指標	達成度	指標	達成度	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②		
巡回・窓口相談指導事業	物価高やコロナ禍等による景気悪化の状況の中、資金繰り等喫緊の課題に対応した小規模事業者支援を行う。また、経営指導員等により経営計画の重要性の認識と策定を促し、中期的な経営計画の策定支援とその後フォローアップを実施することで小規模事業者の持続的な経営に寄与する。 また、災害発生時に早期に事業を再開できるような事業継続計画の周知・策定に努め、小規模事業者の強靱化に向けた取り組みへの支援にも努める。	・巡回窓口指導実企業数 475社 ・巡回窓口指導延件数 1610件 ・課題解決提案件数 30件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 107.3 %)		指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)		得られた効果 小規模事業者の抱える課題の解消、課題解決提案による潜在的リスクへの対応や経営革新計画など事業計画策定について個社支援を行った。また、緊急事態に事業の継続あるいは早期復旧を可能とする事業継続計画の策定支援に努めた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	事業計画の策定事業所の掘り起こしと未指導事業所の計画的解消に努める。	○
				目標数値 1500	実績数値 1610	目標数値 30	実績数値 30	目標達成度 A	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり		
記帳継続指導	小規模事業者の経理事務の省力化やデジタル化の推進を図るとともに、健全な経営基盤の確立に資する財務分析や経営計画策定に繋げていく。また、インボイスの開始により経理処理の複雑さが増加することから、周到に準備を進めていく。	・指導対象者数 68名 ・指導延日数 638日 ・指導延回数 709回	小規模事業者	指標 記帳指導延回数 (達成度 114.2 %)		指標 (達成度 %)		得られた効果 インボイス制度の開始に伴う事務負担の増加への円滑な対応のみならず、要件が緩和された電子帳簿保存法の周知と対応についていくことができた。景況調査や経営計画の基礎データとして活用も進んだ。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標②	複雑かつ高度化する税法に対応するため事業事業所数は同程度にとどめることで安定した指導水準を維持する。	○
				目標数値 621	実績数値 709	目標数値	実績数値	目標達成度 A	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法②		
講習会等	集団指導では、他商工会等と連携し経営分析を踏まえた事業計画策定セミナーや業種別講習会を開催する。商工会単独では、BCPや策定など小規模事業者のニーズに合わせた講習会を開催する。事業者を対象に「おきんどし」を開催し、販路開拓等に取り組み事業者支援を行う。個別指導では、税務・金融等の相談会を実施するとともに、専門家による経営課題の抽出及び解決に向けた支援も行う。	・集団指導14回 参加延人数64人 ・個別指導31回 参加延人数71人	小規模事業者	指標 集団指導参加延人数 (達成度 125.5 %)		指標 個別指導参加延人数 (達成度 263.0 %)		得られた効果 集団においてはインボイス制度講習会や改正電子帳簿保存法対応セミナーの開催により規制改正による対応が求められる税務業務を行うための知識の習得に役立つ事ができた。業種別講習会においては技術の向上に繋がった。 個別においては、税務、労務、経営一般等事業所の抱える様々な課題の解決に繋がった。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	経営計画作成セミナー、BCPセミナーは、次年度も継続し、経営計画や事業者BCPの策定を目指す事業者の増加を目指す。事業所のニーズに合わせたテーマの講習会を開催する。	○
				目標数値 51	実績数値 64	目標数値 27	実績数値 71	目標達成度 A	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法②		
若手後継者等育成事業	「若手経営者等育成セミナー」では、青年部員自身が成果の期待できるテーマを選定し実施する。全国大会等広域事業への参加を通じて、活動推進のための情報収集や帰属意識の醸成を図る。また、地域振興の担い手としての知識や資質向上を図るため青年部・女性部それぞれ支部単位での講習会等を実施する。	若手経営者等育成セミナー参加延人数 23人 講習会等参加延人数 17人	小規模事業者・青年部員・女性部員	指標 講習会等参加延人数 (達成度 100.0 %)		指標 (達成度 %)		得られた効果 若手経営者等育成セミナーを開催し補助金や助成金について等経営者として必要な知識を得ることができた。全国大会や中部ブロック大会等に参加し全国の青年部員の各地での取り組みを知り経営者として青年部としての活動の幅を広げることができた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	引き続き青年部・女性部では自己研鑽のための研修を実施・参加する。	○
				目標数値 40	実績数値 40	目標数値	実績数値	目標達成度 A	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法②		
若手後継者等育成事業（女性部セミナー）	女性部員を対象に、資質向上となるセミナーを開催する。（阿久比町商工会、東浦町商工会、内海商工会、豊浜商工会、師崎商工会、美浜町商工会、武豊町商工会の合同開催（知多支部商工会女性部連絡協議会））	女性部資質向上事業（セミナー開催）（9月） ・参加者数 77名 （※7商工会の合計） ・参加者満足度 90%（アンケート調査）	女性部員	指標 参加者数 (達成度 110.0 %)		指標 参加者満足度 (達成度 112.5 %)		得られた効果 セミナーを通して、地域の絆、人との絆、商工会女性部の絆を強くし、今後の女性部活動を推進する上での礎をつくることのできた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 上げる	地域の絆の場として活動していき、組織の結束力を高め実施していきたい。	○
				目標数値 70	実績数値 77	目標数値 80	実績数値 90	目標達成度 A	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり		
祭典事業	祭典による地域のにぎわい創出を図り、町内飲食店の露店ブース設置により来場者への認知度向上に繋げる。産業まつりでは、事業者による物販のみならず、工業者による出展機会を確保することで、企業紹介や自社製品のPR、事業内容等の地域住民への周知を図り、自社への理解を深める契機とする。	・於大まつり 雨天の為、中止 ・産業まつり11月11日（土）・12日（日） 出店事業所 39社 来場者22,000人	中小・小規模事業者	指標 出展事業者数 (達成度 70.9 %)		指標 (達成度 %)		得られた効果 にぎわいを創出し、地域活性化の一翼を担うことができた。出展事業者は、地域住民に対する認知度向上、企業紹介、自社製品のPRに繋げることができた。		総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標②	行政と連携し、事業者の認知度向上及び販売機会の創出を図るとともに地域のにぎわいも創出する。	○
				目標数値 55	実績数値 39	目標数値	実績数値	目標達成度 C	目標達成度 A			目標達成度 A		目標達成度 A		実施方法① 現行どおり	実施方法②		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価							
				指標	達成度	指標	達成度	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②				
会員交流事業	新型コロナウイルス感染症については、重症化リスクの高い方への感染防止に配慮しつつ、地域活性化と異業種交流を目的とした事業を開催する。コロナ禍でやや疎遠傾向になった事業者間、行政との情報交換の機会を増やすことで、地域内商取引の活性化や地域振興の取組みへの気運醸成に努める。	新年賀詞交歓会・会員親睦事業参加延人数 166名 ・新年賀詞交歓会 102 ・ゴルフ大会 33 ・バス旅行 31 各地区運営指導（5地区） ・森岡 55 ・緒川 64 ・石浜 82 ・生路 37 ・藤江 31	中小・小規模事業者	参加延人数 (達成度 131.8%)		指標	(達成度 %)	新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、以前のような規模で事業を再開した。コロナ等の感染の一時の拡大や天候等に左右されたものの、事業者間並びに行政との交流を図ることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来年度については、会員親睦バス旅行を中止し、役員を中心とした視察研修事業に変更する。
ウェルネスバレー・街づくり事業	ウェルネスバレーの集積価値を高めるため、従来の医福工連携による取組みに加えて、「農」「食」の領域も含めた方向性が示されていることから、この分野における事業者の積極的な参加を促進するとともに、各イベントを通じたウェルネスバレーの理解の醸成に努める。緒川地区の事業者組織「緒川商栄会」への活動支援を行う。	ウェルネスバレー関連事業参加事業者数 3社 ・産業振興 1 ・ウェルネスマルシェ 2 緒川商栄会事業参加延人数 15名	中小・小規模事業者	ウェルネスバレー参加事業者数 (達成度 60.0%)		指標	(達成度 %)	東浦町・大府市等と連携して実施するウェルネスバレー事業の規模が拡大していることから、参加企業が地域内に留まらず県外へも広がっており、地区内事業者の参加が減少した。ただし、スタートアップとの連携や「農」と「食」における連携など新たな事業への参画機会ができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	緒川地区の事業者組織「緒川商栄会」は組織自体が醸成しており、今後の支援については少し距離を置いた後方支援に変更する。
調査・広報事業	国・県等の小規模事業者施策、各種補助金等について、広報誌の発行、ホームページの更新により周知を行い、事業者の個別のニーズに合わせた施策利用の促進に努める。また、商工会事業についても積極的に情報を発信し、小規模事業者に対して理解の醸成を促進する。	・広報誌の発行回数12回 ・ホームページによる情報発信	中小・小規模事業者	広報誌発行回数 (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)	国・県等の施策、各種補助金等を広報誌及びホームページ等周知を行い、会員事業所その他小規模事業者に情報提供を行うことができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	国や県の施策、各種補助金等小規模事業者者に有用な情報を現行通り情報提供していく。
雇用促進事業	優良従業員表彰を実施する事により、従業員の定着化及び勤労意欲の高揚を図り、中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定を図る。雇用促進を支援するため近隣市町と連携し、新規学卒者を主な対象者とした合同企業説明会等雇用対策事業を実施し、雇用促進を支援する。	・優良従業員表彰の実施 14名 ・合同企業説明会開催 2回 ・珠算検定事業の実施	中小・小規模事業者	優良従業員被表彰者数 (達成度 175.0%)		指標	(達成度 %)	優良従業員表彰を実施し、従業員の定着化及び勤労意欲の高揚に寄与した。刈谷市及び半田市で合同企業説明会を他商工会等と連携して実施し、新規学卒者を中心とした採用活動の一助となることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	優良従業員表彰は、引き続き会員事業所に対して周知を行うため、合同企業説明会は求職者に対する周知に力を入れるなど説明会に参加する求職者の増加を目指す。
部会・委員会事業	工業では、将来のものづくりとひとづくりのため、産業まつりに工業部会のブースを出展する。また、販路開拓支援のため、メッセナゴヤ2023に出展する。商業では、産業まつり当日に抽選会を開催し、地域のにぎわい創出に努めるとともに参加事業者の発展に資する事業として一店選品事業を行い選品展示会を開催する。各委員会については必要に応じて適宜開催する。	・部会・委員会活動 各役員会等開催回数 13回 ・産業まつり抽選会加盟企業者数 72件	中小・小規模事業者	各役員会等開催回数 (達成度 65.0%)		指標	(達成度 90.0%)	商業では産業まつり当日に抽選会を行い、にぎわいの創出に努めることができた。また、参加事業所の発展に資する取り組みとして一店選品展示会を開催した。工業ではメッセナゴヤ2023に出展し事業所のPRに繋げることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	各役員会等は、回数を減らしても、審議内容等に不都合がなかったため、来年度以降回数を減らして開催する。商業では、産業まつり抽選会及び選品事業を行い、にぎわいの創出を図る。
福利厚生事業	中小企業・小規模事業者における従業員等の健康と福祉の増進、利便性の向上に資することを目的として、法律で年一回の実施が義務づけられている定期健康診断を実施し、事業所健康診断の受診者数合わせて各種共済制度の普及を図る。	・各種共済制度の普及推進による加入件数 79件 (中小企業共済、小規模共済等) ・事業所健康診断の受診者数 69名	中小・小規模事業者	各種共済加入件数 (達成度 197.5%)		指標	(達成度 98.6%)	共済制度の普及は事業所の必要性を鑑みて推進に努めた。財政基盤強化のため、共済職員との同行を行い、加入促進を行った。健康診断については、事業主として求められる従業員の健康管理に資することができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	事業所のニーズに合わせた各種共済の案内を実施し、各種共済制度の普及を図る。健康診断を実施し、従業員の健康の増進を図る。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②			
労働保険事業	労働保険料の申告納付をはじめ、従業員の入退社に伴う届出書類の作成等を労働保険事務組合にて受託し、人的資源の乏しい中小企業・小規模事業者の事務負担軽減を図る。また、労災・雇用尚保険の適正な給付申請等を支援し、良好な労使関係の構築や雇用面における経営基盤の安定に寄与する。	・労働保険事務等の委託 107事業場	中小・小規模事業者	指標	受託事業場数 (達成度 101.9 %)			指標	%			事業場に応じた申請・届出及び適正な保険給付の助言・指導を行い事業主の事務負担の軽減に寄与した。新規の事業場設置があり目標値を超えることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	未加入事業所に対し制度の理解を促し受託事業所増加に努める。 加入事業所に対し制度改正等の情報提供により良好な労使関係構築に寄与する。
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体との連携や活動を支援することにより、正しい申告納税の推進や、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青申 総会 1回 正副支部長会議 2回 税務講習会 1回 年調・確定申告 2回 法人会 総会 1回 役員会 4回 視察研修 1回 支部ゴルフ大会 1回	青色申告会員・法人会員	指標	各役員会等開催回数 (達成度 130.0 %)			指標	%			新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことにより、昨年度と比較すると事業を多く実施することができた。インボイス制度に係る講習会を開催し、消費税に関する知識を深めることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	従来通り税制等税に関する知識の向上を図る。
産業団体事業	東浦町資源リサイクル推進協議会や日本容器包装リサイクル協会の事業活動に協力することにより、中小・小規模事業者の社会的貢献や循環型社会の実現し、ひいては商工業の発展に資することを目的とする。	・マニフェスト作成枚数 49枚 (マニフェストとは産業廃棄物を処理委託する際に事業者が廃棄物の業者間の流れを確認できるように作成する管理票) ・容器包装リサイクル事業の周知、申込書類の受付	中小・小規模事業者	指標	マニフェスト作成枚数 (達成度 98.0 %)			指標	%			廃棄物の発生抑制と適正な循環的利用・処分による循環型社会の形成に向け、リサイクル意識の向上と産業廃棄物処理の省力化の一助となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き循環型社会における資源の有効利用・再利用等の周知を図るため、事業所への情報提供を積極的に行っていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。